



# 「みやざき人財養成塾」第10回開催の様子



平成28年2月6日(土) 県立図書館 参加者数143名(青年52名、学生等8名、高校生61名、関係者22名)



講座⑩「あなたのエベレストに登れ そして人と手を取り合え」  
宮崎県教育委員会 教育長 飛田 洋

## 塾生アンケートから

### 【社会人】

- めまぐるしく変化する今日への対応力をこれからの若者にどう身につけさせればよいか、教育長の話聞いて考えるきっかけがつかめた。
- 教育長の本県の子どもたちへの思い、人財養成への思いが伝わった。盛りだくさん話にも聞き入り、今後のパワーをもらった。
- 宮崎のことを学びたい！という人がたくさん集まっていて、しかも、高校生・大学生・青年の発表を聞いて、宮崎の若者は頑張っていることがわかった。自分もまだまだ頑張らねばと思いました。
- 宮崎を熱く想っている方々の話が聞けて、共感する部分が多く、勇気をもらいました。

### 【大学生】

- 教育長の話は教育に関して様々な視点からのものであり、とても興味深かった。よい言葉をたくさん知り、心にストックすることができた。
- 自分と同じ世代の人たちの熱い思いを聞くことができてよかった。
- 宮崎県で生まれ育ったことを誇りに思いました。いろいろな立場の人から、様々な視点でお話をいただけたので、視野を広げることができ大変勉強になりました。

### 【高校生】

- いろんな曲の歌詞にたくさんの意味が込められていると知り、自分が生きる理由を考えることができた。
- 教育長のお言葉一つ一つに感動しました。宮崎の就職について細かく知ることができた。
- パネリストの方々の話を聞いて、宮崎への思いが伝わり、自分も宮崎に貢献できるような人になりたいと思った。
- 大人だけでなく高校生が参加でき、しかも参加した方々が発表が聞けて、よい機会だった。

### ○ 塾生プレゼン・パネルディスカッション

テーマ「これからの宮崎の発展や地域活性化について」

#### <コーディネーター>

・宮崎公立大学 准教授 梅津 顕一郎 氏

#### <塾生発表者・パネリスト>

・「みやざき人財養成塾を振り返って」

県立延岡星雲高等学校2年 村岡 紅葉さん

・「ゼミでの取組『田野茶をPRしよう！』を通して考える地域活性化」

宮崎公立大学3年 村岡 真衣さん

・「青年団で魅せる☆人間力と地域力」

宮崎県青年団協議会 会長 堀口 美穂さん

#### <パネリスト>

・株式会社ホテルマリックス 代表取締役社長 枝元 倫介 氏

・南日本ハム株式会社 管理本部

総務人事部長付マネージャー(食育・広報担当) 難波 裕扶子氏

・国立大学法人宮崎大学

地域資源創成研究センター 講師 山崎 有美 氏





# 「みやざき人財養成塾」第9回開催の様子



平成28年1月16日(土) 県立図書館 参加者数91名(青年39名、学生等13名、高校生等26名、関係者13名)



「コミュニケーションであなたの未来が広がる」

講師：株式会社テレビ宮崎 アナウンサー 高橋 巨典 氏

## 塾生アンケートから

### 【社会人】

- コミュニケーション能力について、相手の気持ちを考え、ゆっくり丁寧に話すことや相手を敬いながら気持ちを伝えることが大切であることがわかった。自分の生活を改めて考えることができたので、大満足です。日々、反省し、これからも夢を持ち続けたい。
- 傍聴(＝働く)は、今後の仕事において心に残る言葉だった。
- パネルディスカッションでは、実際の体験に基づいた意見を聞くことができてよかった。
- これからの企業は、「人財で差を付けるしかない！」という言葉が心に残った。

### 【大学生】

- コミュニケーション能力を高めるために、今後、自分が何をすべきがわかった。大学では、今回のような方々のお話を聞く機会がないので、とてもありがたい。
- 最初から最後まで聞き入ってしまい、大変内容の濃い講座だった。
- さすがに「コミュニケーション」という内容で話してくださった方々だけに、話がとてもおもしろかった。

### 【高校生】

- 話を聞きながら「こうすればいいのか」「こう考えれば・・・」など、納得できる場所が多かった。生徒会長をしているので、学んだことを今後に生かしたい。
- 学校生活で今日学んだことを生かし、日本語を上手に相手に伝えることのできる大人になりたい。
- 「働く」ことについて、自分の好きなことだったら、つらいことでも乗り越えられ、成長できることがわかった。また、今回の内容は、今年の受験の時や社会人になる上で役立てると思った。
- 一人で参加したが、かたい雰囲気だったらと心配してたが、やわらかい雰囲気でとてもよかったです。
- これから一人の人間として生きていく上で必要なことを聞いた。また、自分の将来や進路を考える貴重な機会だった。

## パネルディスカッション

### 「もっと教えて！コミュニケーション」

#### ○ファシリテーター

株式会社テレビ宮崎 アナウンサー 高橋 巨典 氏

#### ○パネリスト

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ・株式会社ホテルマリックス 代表取締役社長 | 枝元 倫介 氏 |
| ・花ふぶき一座 座長            | 宮田 若奈 氏 |
| ・株式会社宮崎銀行 品質向上推進室 室長  | 津田 宗次 氏 |
| ・ANA客室乗務員             | 田中 晶子 氏 |





# 「みやざき人財養成塾」第8回開催の様子

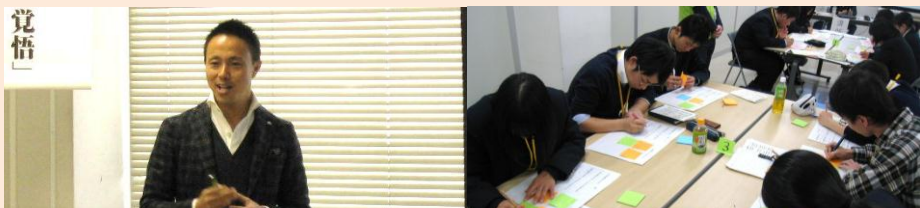
平成28年1月9日(土)県庁7号館 参加者数100名(青年34名、大学生6名、高校生等40名、関係者20名)



分科会1 「食えることは、生きること。」～What you eat is what you are.～  
講師: 南日本ハム株式会社 総務人事部長付マネージャー 難波 裕扶子 氏



分科会2 「食・農・命」安全で美味しいものが食べたい。そして皆さんにも食べてもらいたい！  
講師: 綾・早川農苑 代表取締役社長 早川 ゆり 氏



分科会3 「農業という選択と覚悟」  
講師: 有限会社 加藤えのき 代表取締役 加藤 修一郎 氏



分科会4 「オリジナリティーが大切～人の温もりに恵まれて～」  
講師: 居酒屋 我生庵 店主 上石 温 氏



全体会「農業の魅力を伝えたい」  
講師: 農業生産法人 有限会社 福富農産 フクトミファームガーデンアヤ  
代表取締役 浮邊 博之 氏

## 塾生アンケートから

### 【社会人】

- 私の実家も農業をしており、将来の生活や農業について多少なりとも不安を感じる中、これからの農業に関して光を見いだすことができた。
- 宮崎で活躍されているプロフェッショナルの方々の話が聞けた。教科書では伝えられないことであり、勉強になった。
- 農業のイメージが変わった。浮邊講師の取組に感銘を受けた。
- 難波講師の講座では、味覚体験もあり、楽しんで参加することができた。食を見直そう思った。
- 毎日、食べている物が、どういう思いで作られているか、早川講師の話聞き、その思いが伝わった。
- 目標をもって行動することの大切さを加藤講師から学んだ。
- 上石講師の天職を見つけるまでの過程が興味深かった。ワークショップで、いろいろな意見が聞けた。

### 【大学生】

- 農業での新しい挑戦について聞くことができ、自分も物事への挑戦の気持ちが芽生えた。
- 宮崎の基幹産業である農業の今の作り方にふれることができ、感銘を受けた。できるだけ、これから宮崎に貢献していきたい。

### 【高校生】

- 自分の進路を改めて考え直すことができた。また、いろんな人が宮崎で頑張っていて感動した。
- いろいろな意見があって、自分とは違った観点が発見できて視野が広がった。
- 宮崎の農業が海外進出など具体的な農業の広げ方をきくことができ、私も挑戦してみたいと思った。
- 栄養を学びたいと考えていて、今日のアドバイスを聞いて自分の描けるような夢に近づけたと思った。
- どんな小さな夢でも実現に向けて頑張ることの大切さを感じた。まずは、夢を見つけること、そのプランを考えながら今日から生活していきたい。
- 今日教えてもらったことを参考に自分のアイデアを生かせるような加工品をつくりたい。
- ただ、作る技術だけでなく、広報力や企画力が大事など、農業に対する意識が少し変わった。





# 「みやざき人財養成塾」第7回開催の様子



平成27年12月19日(土)県庁7号館 参加者数88名(青年40名、大学生21名、高校生等20名、関係者7名)



## 全体会

「人口減少に対応した社会づくりと『新しいゆたかさ』の実現に向けて」  
～宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組～

講師: 県総合政策部 部参事兼課長 井手 義哉

## 分科会1 「仕事を『興す』～フードビジネスの展開～」

講師: フードビジネス推進課 企画推進担当 主査 黒木 史仁



## 分科会2 「人を『育てる』～希望を叶えられる環境づくり～」

講師: こども政策課 子育て支援担当 主幹 崎村 司



## 分科会3 「まちを『磨く』～世界ブランドの地域づくり～」

講師: 中山間・地域政策課 地域総合調整担当 主幹 東原 擁慈



## 分科会4 「資源を『呼び込む』～ひなた暮らしのすすめ～」

講師: 中山間・地域政策課 移住・定住推進担当 主幹 白地 浩二



## 塾生アンケートから

### 【社会人】

- 県の現状・課題、これからどうなっていくのか知ることができ、県を活性化させるために、自分でもできることがあればやっていきたいです。
- 県政に関わっている方々の生の声が聞けてよかったです。県の危機感が伝わりました。
- 実際に県で政策を考え、行っている方々の話を聞くことができ、とても有意義な時間でした。また、分科会のワークショップでは、同世代との意見交換をすることで、自分にはない発想や考えを知ることができてよかったです。
- 社会人として参加しましたが、若い方の参加が多く、活気があって、県の未来に期待します。

### 【大学生】

- 宮崎での就職を希望しているので、改めて宮崎のことを考えるきっかけをいただきよかったです。また、宮崎に就職する際に、やりたいこと、やるべきことを再確認することができました。
- 様々なバックグラウンドのある方々と、自分の興味のある分野について話し合うことができました。
- 私もこれから、宮崎独自の取組で、さらに結果が出せることはないか考えていきたい。
- いろいろな年齢層の方の意見が聞けてよかった。また、宮崎県人として宮崎のことを真剣に考えるよい機会になりました。

### 【高校生】

- 様々な職業や年代の方と、このような形でお話してたくさん刺激を受けました。今回、宮崎県が今、何に取り組んでいるかなど、初めて知ることが多かったです。私にとって、とてもよい経験になりました。
- 現在の宮崎県が抱える現状、対策について考えることができ、とても充実した時間になりました。ワークショップでも、とても盛り上がり、今後の宮崎がどうあるべきか具体的に見つめることができました。
- 知らなかったことをたくさん知ることができました。宮崎の魅力をもっと県外に伝えたいと思うよい機会でした。





# 「みやざき人財養成塾」第6回開催の様子



平成27年12月12日(土) 日南市油津yotten 参加者数102名(青年54名、大学生17名、高校生等17名、関係者14名)



## 「創客創人のまちづくり」

講師: 日南市長 崎田 恭平 氏



## 「次の世代にどうやってまちづくりを継承していくか」 ～日南市・油津商店街再生事業～

講師: 日南市・油津商店街テナントミックスサポートマネージャー  
木藤 亮太 氏

## 塾生アンケートから

### 【社会人】

- 宮崎の魅力について再確認できたとともに、地域アイデンティティのつくり方がわかった。また、綾ユネスコパーク認定までを知ることができた。
- 自分の力がどう宮崎の役に立つかを考えられる機会になった。
- 「ひむかかるた」を子ども時代にやっていたらもっと宮崎のことを学べたかなと思った。大人になってやってもおもしろかった。

### 【大学生】

- 高校生・大学生・社会人が一緒になって同じテーマを考え話し合う機会は、なかなかないので、とてもよい経験ができた。
- 地域に密着した話を聞くことで、日頃の講義では学べないことがたくさんあり、驚きもあった。
- 宮崎の魅力を知ることができ、自分の県と他県の魅力をつなげていくことで、もっと日本がよりよい国になっていくのではないかと感じた。
- 私は県外出身ですが、地域の今と未来を盛り上げていこうという熱い志が伝わった。

### 【高校生】

- 街づくりは一部の人(行政)がするものでなく、住民一人一人が積極的にその地域のよいところ、もっとよくするためのアイデアを共有することが大切だということがわかった。これから実生活でも一人で考えるだけでなく、周りの人との意見を共有して自分の生活をよいものにしていきたい。
- 初めて参加したが、宮崎のために何をするのかなど、今自分たちにできることは何かを真剣に考えることができた。





# 「みやざき人財養成塾」第5回開催の様子

平成27年11月7日(土)県庁7号館 参加者数86名(青年12名、大学生36名、高校生等35名、関係者3名)



「みやざきを知る(総括編)」～ひむかかるとを通して～  
講師:宮崎公立大学 准教授 梅津 顕一郎 氏



「宮崎の魅力を活かした地域づくり」  
～綾ユネスコエコパークの事例を通して～  
講師:綾町エコパーク推進室 まちづくり推進室  
専門監 石田 達也 氏

## 塾生アンケートから

### 【社会人】

- 宮崎の魅力について再確認できたとともに、地域アイデンティティのつくり方がわかった。また、綾ユネスコパーク認定までを知ることができた。
- 自分の力がどう宮崎の役に立つかを考えられる機会になった。
- 「ひむかかると」を子ども時代にやっていたらもっと宮崎のことを学べたかなと思った。大人になってやってもおもしろかった。

### 【大学生】

- 高校生・大学生・社会人が一緒になって同じテーマを考え話し合う機会は、なかなかないので、とてもよい経験ができた。
- 地域に密着した話を聞くことで、日頃の講義では学べないことがたくさんあり、驚きもあった。
- 宮崎の魅力をを知ることができ、自分の県と他県の魅力をつなげていくことで、もっと日本がよい国になっていくのではないかと感じた。
- 私は県外出身ですが、地域の今と未来を盛り上げていこうという熱い志が伝わった。

### 【高校生】

- 街づくりは一部の人(行政)がするものでなく、住民一人一人が積極的にその地域のよいところ、もっとよくするためのアイデアを共有することが大切だということがわかった。これから実生活でも一人で考えるだけでなく、周りの人との意見を共有して自分の生活をよいものにしていきたい。
- 初めて参加したが、宮崎のために何をするのかなど、今自分たちにできることは何かを真剣に考えることができた。





# 「みやざき人財養成塾」第4回開催の様子

平成27年10月24日(土) 県電ホール 参加者数61名(青年24名、大学生15名、高校生等18名、関係者4名)



「記紀にみる古代日本の人づくり」～日向神話を中心に～  
講師：宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴 氏

## 塾生アンケートから

### 【社会人】

- 神話や古代の人々の生き方に思いをはせながら、宮崎の人間としての自分のルーツについて考えることは大変おもしろかった。古について学び考えていくことの大切さについて知ることができたので、今日来た価値は十分にあると思った。
- 知らないことはばかりで勉強になった。学生の時、興味がわかかなかったことも大人になって知りたかったと思ったので、この塾に参加できて本当によかった。
- 古来からある宮崎の魅力や価値観は変わらないと気付くことができた。
- 「日本のひなた宮崎県」と宣伝している根拠や古事記・日本書紀、古墳や埴輪等、宮崎に実際に存在する文化財など、宮崎県人として他県へ誇れる内容を理解できた。

### 【大学生】

- 学校で学んだこととは違う視点で学ぶことができ、遠方から来た甲斐があった。今後は学んだ知識を様々な場でアウトプットしていきたいと思った。今日が初めての参加だったが、とても興味深いものだったので、また必ず参加したい。
- 県外から来た自分にとって、宮崎の歴史は、ほとんど知らないことばかりだったので、大変勉強になった。
- 始まりから終わりまで、いろいろな発見をしながら講義を受けることができた。

### 【高校生】

- 自分が新しいことを知ることができたので、少しずつ周りに伝えていきたい。
- 宮崎県は、すごいところだなあと改めて考えることができた。
- 自分の歴史の知識を深めることができたし、大学の講義の雰囲気がよくわかった。



「世界文化遺産としての宮崎の歴史と文化を考える」  
～史跡を活かしたまちづくり～

講師：宮崎県教育庁文化財課専門主幹 北郷 泰道 氏





# 「みやざき人財養成塾」第3回開催の様子



平成27年10月17日(土) 県立図書館 参加者数68名(青年17名、大学生31名、高校生等17名、関係者3名)



「廣瀬宰平がみた宮崎 ～宮崎の人と自然～」  
講師：主席宮崎県文書センター運営嘱託員 永井 哲雄 氏

## 塾生アンケートから



「方言が宮崎を元気にする～方言による地域イノベーション～」  
講師：十文字学園女子大学 教授 松永 修一 氏

### 【社会人】

- ずっと宮崎にいても、知らない事がたくさんあることを痛感した。外から見た宮崎というのは、やっぱり勉強になった。
- これまで一度も「方言」というテーマで講演を聞いたことがなく、とても新鮮であった。方言のある宮崎に生まれて幸せだと感じ、改めて歴史を学ぼうという気持ちになった。
- ワークショップがすごく楽しく、グループ内でコミュニケーションがとれて、たくさんのアイデアが出てうれしかった。

### 【大学生】

- 宮崎を大好きな人たちが、よりよくしていこうと、さまざまな提案や知識をたくさん教えてくれた。また、自分も大好きな宮崎なので、もっともこの講座に参加して、宮崎のことを好きになってくれる人がたくさん出てきてほしいと感じた。
- 全くといっていいほど知らなかった歴史を知ることができた。宮崎に対する思いが高まった。
- 高校生、社会人、大学生が混ざってワークショップができたことは、とても楽しかった。

### 【高校生】

- 今まで知らなかったたくさんを知ることができた。ただ知識を得るだけでなく、今後の宮崎をどうすればいいかを考えるヒントもたくさん得ることができた。
- 社会人・高校生・大学生という違う年齢の方と日ごろ考えたことのないテーマを話し合うことができ、いい経験になった。





# 「みやざき人財養成塾」第2回開催の様子



平成27年8月29日(土) 県立図書館 参加者72名(青年:37名、大学生9名、高校生等15名、関係者11名)



## 「未来の風景を創ろう」

講師: 有限会社 一平 代表取締役 村岡 浩司 氏



## 「幸せの花咲かせます」

講師: 花ふぶき一座 座長 宮田 若奈 氏



## ワークショップ「知っちゃって？みやざき」

### 塾生アンケートから

#### 【社会人】

- 高校生、大学生、社会人の方と話す機会もあり、とても刺激を受けた。
- 村岡さん、心が震えるようなよいお話を伺うことができた。熱い思いを知ることができ、元気が出た。宮田さん、「笑顔」について、改めてその大切さを再認識した。今を精一杯生きねばと感じた。若い人たちにたくさん聞いてもらいたい内容であった。

#### 【大学生】

- 宮崎で何かをしたいと考えているので、今日の塾を通してその気持ちが大きくなった。やる気が出た。いろいろなボランティアなどにも参加して宮崎とさらに密着していきたいと思った。
- 村岡さんのお話を聞いて、一番最初に何がしたいのかを見つけることが大切だということが分かった。宮田さんには今しかないので、後悔しないように生きるということを聞き、自分も後悔しないように行動していこうと思った。

#### 【高校生】

- 宮崎のすばらしさを改めて感じる事ができた。また、これから自分がどのようなことをしてこの宮崎をいろいろな人にアピールしていけばいいかわかり、とてもためになり、これからの人生に役立てるきっかけになった。宮田若奈さんの話はとても感動し、今を大切にしたいと思った。
- ワークショップでの知らない人同士の交流には抵抗があったが、やってみるととても楽しく意見が出せた。これからももっとやってほしい。





# 「みやざき人財養成塾」第1回開催の様子



平成27年8月11日(火)県立図書館

参加者数209名(青年33名、大学生23名、高校生等141名、関係者12名)



「宮崎の未来を担うみなさんへ期待すること」

講師:宮崎県知事 河野 俊嗣



「一日完結」

講師:「タツヤカワゴエ」オーナーシェフ 川越 達也 氏



「社長をめざせ」

講師:元旭化成取締役常務執行役員 水永 正憲 氏

## 塾生アンケートから

### 【社会人】

- 宮崎の今後を見据える上で、非常に大切な講義であったなど、また社会に出た時に厳しい場面に直面した際にどう乗り切るかを丁寧に説明してくださった。
- これからの宮崎人としてどう生活していけばよいか勉強になった。

### 【大学生】

- 現在、宮崎のために貢献されている方々の講話を聞き、これから将来の宮崎・日本を担っていく若者がどうあるべきか、そのヒントを頂くことができた。改めて地元の宮崎で働きたいという気持ちが強くなった。現在、就職活動の段階にあり、私自身どう進むか迷っている部分があったが、今一度、私は地元で何をしたいのか、どう貢献したいのか、考えていきたいと思う。
- 自分が今、学んでいることと全く関連のない項目(講義内容)でしたが、とても興味を持って聞くことができた。また社会・宮崎をみる視野が広がったと思う。

### 【高校生】

- 私は何気なく日々を過ごしてきたが講師の方々にこの高校3年間でいかに大切に過ごすかで社会に出たときの未来が変わるかを教えてくれた。
- 地域活性化のためにさまざまな方向からの考えが聞けてよかった。そして自分も含む若者が中心になってくるので私が頑張らないといけないなと思った。





# 「みやざき人財養成塾」企画会議委員



議長

宮崎公立大学人文学部国際文化学科  
准教授 梅津 顕一郎

副議長

高原町地域おこし協力隊 北原 優美

委員

## ○ 学識経験者

- ・ 宮崎公立大学人文学部国際文化学科 准教授 梅津 顕一郎
- ・ 都城農業高等学校 校長 上池 恭廣
- ・ 宮崎大学地域資源創成研究センター 講師 山崎 有美

## ○ 企業関係者

- ・ 株式会社テレビ宮崎 アナウンサー 高橋 巨典
- ・ 株式会社ホテルマリックス 代表取締役社長 枝元 倫介
- ・ 南日本ハム株式会社 総務人事部長付マネージャー 難波 裕扶子

## ○ 生涯学習・社会教育等関係者

- ・ 宮崎県立看護大学 教授 長鶴 美佐子
- ・ 特定非営利活動法人 宮崎文化本舗 桑畑 夏生
- ・ 花ふぶき一座 座長 宮田 若奈

## ○ 学生・青年

- ・ 宮崎大学 工学部 田上 諭  
板清 智也
- ・ 宮崎公立大学 文学部 村岡 真衣
- ・ 宮崎県青年団協議会 会長 堀口 美穂
- ・ 高原町地域おこし協力隊 北原 優美

## ○ 行政関係者

- ・ 日南市教育委員会 教育長 黒木 康英
- ・ 美郷町教育委員会教育課生涯学習担当 主幹 鎌田 次郎

## 「のびよ みやざきっ子」取材の様子

